

第12回運営委員会の協議状況

日時 平成16年12月7日(火) 18:15～20:50

場所 アピアホール(アピア1 5階)

出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、岡田、佐々木、中川

伊藤、岡、加藤、酒井、村岡、山仲

(県) 田中、黒田、西川、松本、前川、前田、西村、竹松

内容(協議結果)

次の協議結果を次回流域委員会に報告、提案する。

1 第10回流域委員会議題の調整

(1) 治水計画の詳細検討

(第8回流域委員会で確認した) 検討フローA、Bの治水の検討を、第9回委員会で出された論点に添って順次審議する。まず、計画規模(治水安全度)の妥当性について合意点を見出したあと、確率雨量や対象降雨、流出解析等についてのルールの合意点を探りながら流出予測(基本高水)を決めることに集中する。

その後順次、治水対策の検討を行うが、利水・環境・コスト等の負担など妥当な対策を得られなければ、前提条件の議論にもどることを前提とする。意見の異なる論点の整理と合意形成を優先する。

(主な意見)

- ・ 絞った議論が必要。基本高水を決定するまでの作業(フローのA項目)に絞って議論すべき。
- ・ 計画規模(治水安全度)からスタートして議論し、行き着く所まで議論することが重要。
- ・ まず、計画規模を設定することは、賛成。しかし、基本高水を定めるルールがはっきり決まっていない。河川砂防技術基準をどう取り扱うかを含め、ルールの確立が必要。
- ・ 計画規模の設定は、十分な議論が必要。計画規模の見直しは、どうしても行き詰まった時にのみに戻るべきである。
- ・ 考え方を議論すべき。ロジックが共有されていないと議論ができない。
- ・ 流域内対策は、基本高水の数字が出ないと議論ができない。

(2) ワーキンググループ

ワーキンググループはフローC、Dの問題点の整理や資料収集の段取りをどう見出すかを検討する。環境、まち、治山・農地について村岡、田村、加藤の3委員をそれぞれのグループの主査とし、委員の中から数名のメンバーを選んで準備作業をおこなう。

同グループはまとめた作業手順を運営委員会に報告し、流域委員会の承認を得てから具体的な作業に入る。

上記グループに先立ち、武庫川の「現状と課題」について中川委員を主査とするグループで論点を整理し、運営委員会に報告する。メンバーはいずれも数人程度とする。

上記の各メンバーは、委員の中から積極参加も募る。

2 その他

(1) 第3回リバーミーティングのテーマ設定

テーマは、「今の武庫川、これからの武庫川」とする。
「上流域の課題と上・下流の交流」をサブタイトルとする。

(2) 運営委員会

次回の運営委員会は、12月27日(月)13:30から開催する。

流域委員会等開催予定一覧

(流域委員会)

区分	日時	場所	備考
第10回流域委員会	H16.12.21(火) 13:30~	アピアホール(宝塚市)	阪急逆瀬川
第11回流域委員会	H17.1.14(金) 18:00~	アピアホール(宝塚市)	阪急逆瀬川
第12回流域委員会	H17.1.31(月) 15:30~	尼崎市立女性・勤労婦人センター	阪急武庫之荘
第13回流域委員会	H17.2.16(水) 13:30~	尼崎市立女性・勤労婦人センター	阪急武庫之荘
第14回流域委員会	H17.3.10(木) 13:30~	西宮市民会館	阪神西宮

(リバーミーティング)

区分	日時	場所	備考
第3回リバーミーティング	H17.1.29(土) 13:30~16:00	篠山市立四季の森会館	

(運営委員会)

区分	日時	場所	備考
第13回運営委員会	H16.12.27(月) 13:30~	ソリオホール(宝塚市) 第1会議室	